

入園おめでとうございます

今年度は39名の新しい友だちを迎え、暖かい日差しの中、入園式を行いました。

式では、そら組からのうた『はるだから』『チューリップ』とメダルのプレゼントをしました。もらう側もわたす側もお互いに、恥ずかしがっていましたが、少しでも顔を覚えるきっかけになったかな?と思います。

入園式当日の保護者の方と新しいこどもたちの緊張した面持ちも変わり、今では笑顔も多く見られるようになってきましたね。

5月

8日(金) 誕生会
14日(木) 避難訓練

6月

4日(木) 歯科検診
17日(水) 避難訓練
19日(金) 誕生会

人権ってどういうことだろう?

今年度、誕生会に『人権をこどもと一緒に考える』をテーマにコーナーを設けています。“人権”というと、とても難しいことと思われるかも知れませんが、身近な出来事を通して、こんな時はどうしたらいいのかな?相手はどう思っているのかな?など考える機会にできれば、と思っています。

1回目は『自分より小さい子と遊ぶときについて』のキャラバンを行いました。ある子が、自分より小さな子と遊んでいました。可愛さのあまり、力任せにほっぺたをつねったり、自分の行きたい所に引っばたりしています。そこに現れたのは、**じんおさん**。「自分がやりたいんだから、やっちゃえ!やっちゃえ!」と声をかけてきました。でも、次に現れた**けんこさん**はこう言います。「泣いてないけど、うれしくないんじゃないかな?言葉では伝えられないけれど、嫌な思いをしているかもしれないよ」言葉にしただけで感情の表現ができなかったりしても、嫌な気持ちを持つことは小さい子でも一緒だよ、とこどもたちと確認しながら話を進めました。

こどもたちにわかりやすいように、チクチクした気持ち(自分のことしか考えていない気持ち)とフワフワした気持ち(自分のことも相手のことも考えている気持ち)と表現をして伝えました。こどもたちに上手く伝わるとうれしな。



いちよの森だより



いちよの森こども園 園だより No.33



令和2年度5月7日 発行
いちよの森こども園 園だより
桜が丘東3-3-496
TEL 086 (956) 2022
FAX 086 (956) 2023



いちよの森こども園 HP には、QR コードまたは下記のHP アドレスよりアクセスできます。

<https://ichinomori.okayamakodomokyoukai.jp/>



思わず触りたくなる環境づくり

戸外に出ようと用意をしていると、一人の子の靴下が片方なくなっていることに気づいて保育者が探していました。すると、おもむろに自分で棚の段差の隙間にある、こどもしか手が入らないスペースから、靴下を取り出してきていました。こどもの目線だから見えた隙間、何かを入れてみたいという好奇心に「えっ!?そこに入れてたの」と驚かされました。そして、自分が外に行きたいタイミングになったから取り出してきたようで、そのことにも驚きました。また園外にでかけた時、どんぐりがたくさん落ちているのを発見しました。拾って集め、手に持てるだけいっぱい握りしめていましたが、持ちきれなくなったどんぐりがコロコロ転がって、近くの側溝の穴に落ちてカランカランという音がしました。そこから、あそびが変化して、夢中で次々と穴にどんぐりを入れていました。

こどもたちには面白いことを見つけるセンサーがあるのだなと気づかされるのがよくあります。そんなこどもたちの発見と一緒に楽しむことができればいいなと日々思いながら生活しています。そして、こどもたちの様子に合わせた手作りおもちゃを作るのが、私自身の楽しみになっています。棚の中の玩具箱をひっくり返して、たくさんの玩具を出すことをくり返して遊んでいる子がいました。そこで空き箱を使って6つの3角形をくっつけた箱を用意しました。1つのスペースに1つのお手玉を詰め込んだものです。箱をひっくり返すとポトポトとお手玉が落ちるのがおもしろいようで、よく遊んでいました。棚などに貼ってある購入日を書いたシールや、ダンボール箱に装飾用に貼ったテープを剥がしているのを見つけたので、部屋のあちらこちらにビニールテープを貼って剥がす遊びをしました。これはダメ、あれはしたらダメと言うのではなく、「今はこんなことをするのが楽しいのだな」「じゃあ、それをあそびに取り入れることはできないだろうか」という視点で考えていけたらと思っています。そして、園で気づいたこどもの姿を保護者の皆様と共有し、こどもたちと一緒に私も共に成長していくことができたらと思います。



平成 知マ

好きなあそびみ～つけた



にじぐみ

『みーつけた』

にじ組になり、友だちと“一緒にあそぶ”ことが多くなってきたので、かくれんぼやむっくりくまさんなどの集団あそびを少しずつ取り入れています。中でも、かくれんぼが大好きなにじ組。探すのはもちろん隠れるのも上手です。友だちの手を引き「ここにしようや」とひそひそ話。身体を小さく丸めてひっそり隠れている姿がなんとも微笑ましいです。



ゆきぐみ

『砂場あそび』

戸外に出るとよく砂場遊びをしています。砂に触れてみて、砂場玩具に触れてみていろいろな感触を楽しんでいます。砂の不思議さを感じているのか、ふるいで砂をサーッと落とすと手をかざしてきゃきゃと笑います。型抜きをして見せると、できたそばからすぐに真剣な顔で潰して喜びます。



はなぐみ

『スイッチ』

新しく用意したスイッチのおもちゃに興味津々のこどもたちです。つかまり立ちができるようになって、立って遊びたい子にちょうど良かったようで、スイッチがカチッとなるのを楽しんでいます。奥側を押すとライトがついて、手前を押すとライトが消えるのですが、いろいろなところを触ってどうなるか試しています。



保育補助員紹介



勤務時間帯：早朝

昼間

夕方

そらぐみ

『こんなのできました！』

廃材を自由に組み合わせて自分だけのオリジナル作品を作るのがブームです。材料に限りがあるので約束事は『一人三個まで』。後は何をどうやって作っても大丈夫。切ったり、テープで貼ったり、マーカーで描いたり。はさみを使う細かい作業も上手になってきました。時には保育者が思いつかないような作品が出来上がることもあります。自分の納得のいく作品ができるまでじっくり作る時間が楽しいようです。



ほしぐみ

『楽しい時間の共有』

一人の子がドミノを始めると、自然と数人が集まってきて「長くなってきたな」「倒れんように気を付けて」と話しながら、どんどん並べていきます。「せーの」のかけ声で順々に倒れていき、その様子を見つめる表情は、こどもはもちろん大人もドキドキ・ワクワクという言葉がぴったりです。“楽しいね→またやってみよう！”を積み重ねていきたいと思います。



つきぐみ

『乗ってくださーい』

園庭に出るとフラフープに一目散。つなげて電車に見立てて「出発しまーす」と運転手になりきっています。「〇〇くん乗っていいよ」と友だちを誘う姿も見られ、友だちと一緒にごっこあそびを夢中で楽しんでいました。できるだけこどものイメージしている世界を邪魔しないよう一緒に楽しんでいきたいです。

